

特集

育てるのはひとりじゃない みんなで子育て



子育て中に「つらい」「大変」と感じたことはありませんか。やることで多くて忙しかったり、わからないことがたくさんで不安だったり、周りに頼る人がいなかったり…。子育てはお母さんが一人でするものではありません。この特集では地域のさまざまなサポートを紹介します。

問合せ ○市庁舎本館1階 子育て支援課 TEL0897-52-1581
○総合福祉センター内 中央保健センター TEL0897-52-1215

写真：丹原児童館を利用していた皆さん

子育て中、 尽きない悩み…

小さな子どもを育てているとき、なかなか思うようにいかなかったり、ちょっとしたことでつまづいたり。取材をする中で、子育てをしている皆さんから、さまざまな悩みや、困り事があるのを聞きました。

うちの子が普通か
どうか分からない

転勤で来て周りに
知り合いがいない

共働きの親に対する
サポートがほしい

ごはんのあげ方は
これでいいの？

どの施設を利用
したらいいの？

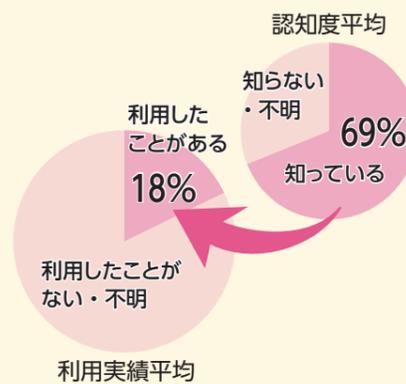
一人で考えて
いつも悩んでしまう

子どもを預けることに
罪悪感を感じる…

子育て環境づくりは みんなの課題

当市では、年間で約800人（1日あたり2・2人）が生まれ、約1300人が亡くなっています。転入・転出者の増減を加味しても、人口はここ10年で年間平均約500人ずつ減少。一方、市内の子育て世帯へのアンケートでは、地域の子育て支援事業を約7割が認知しているのに、利用は約2割にとどまるということが明らかになりました。

DATA
知られているけど利用率の低い
地域の子育て支援事業



市では出産前から子育て支援を行い、地域でも子育てに奮闘するパパやママのために活動する方がいますが、まだ十分に活用されているとは言い難い状況です。少子高齢化が確実に進む今、まち全体で子育て環境を考えることが大事です。それぞれができることを考え、西条の宝である子どもたちを育てていきませんか。

※数字は西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成30年改訂)、西条市子ども・子育て支援に関するニーズ調査(平成26年)から

大変なことも、 楽しいことも

「子育てママ」座談会

市内で子育てをする3人のお母さんに、これまでの苦労や、どんなサポートが役に立ったかなどを、本音で語り合ってもらいました。

支援センターなどを活用

—子育て真っ最中の皆さんは、普段どのような施設を利用することが多いでしょうか。

桐木さん(以下、桐) 小松東保育所の地域子育て支援センター「たんぽぽくらぶ」に月3回くらい行って、保育士さんや他の子どもと一緒に遊

んでいます。家では子どもと2人きりになってしまいますが、「たんぽぽくらぶ」に行くと、私から離れて遊んでくれるので助かっています。大西さん(以下、大) 東予西児童館の幼児クラブに、週1回通っています。工作や踊り、手遊び、紙芝居など、先生が毎回違う内容を考えてくれます。子どもも喜んでいて「毎

日行きたい」と言うほどです。1クラスなので、1歳から3歳までのみんなが一緒に遊んでいます。

小池さん(以下、小) 総合福祉センター内の支援センター「ひだまり」をよく利用します。好きなときに行け、子どもが遊んでいる様子を見ながら、保育士さんと気軽に相談もできます。上の子のときも利用していました。最近、西条西部児童館の幼児クラブにも通い始めました。

—それらを利用し始めたときに、何かきっかけがありましたか。

大 以前住んでいた新居浜市では周りに知り合いがいなかったのもあって、幼児クラブに参加してみました。西条に帰った後も、近くに児童館があったので、そのクラブに入りました。少人数のためアットホームで、ゆったりと過ごせています。

桐 「たんぽぽくらぶ」は3カ月健



大 上の子のときは、ずっと2人きりで家にいるのがしんどかったです。外に出て話すことでストレスも発散でき、同じくらいの子がどんな感じかも分かるので、交流は大事です。今は近くの児童館にふらっと遊びに行けるので楽しめています。

気軽に話せる人がいるのといないのでは全然違うと思います。

—悩みながら小さい子どもを育てている方へ、何かアドバイスはありますか。

大 もしつらいときは、気分転換で外に出てみたらどうでしょう。役立つ情報もいろいろもらえるはずです。

桐 まずは一歩出てみるのが大事です。お母さん同士は、いろんなところでつながっていくと思います。

小 「ひだまり」や幼児クラブでいろんな知り合いができ、その後もずっとつながっています。気軽に利用してみたら、きっと何かが変わると思います。

お母さん
同士のつながりも
広がっています



小学生2人と1歳7カ月の
子どものお母さん。
小池佳子さん

児童館の幼児
クラブで楽しん
でいます



5歳(幼稚園)と2歳の
子育て中のお母さん。
大西千波さん

おすすめの子育て支援

地域子育て支援センター

詳しくは▶



市内に8カ所あり、育児の不安・悩みについての相談、交流の場や子育て情報の提供、サークル活動の支援などを行っています。

※「ひだまり」は26ページでも紹介



幼児クラブ

市内4カ所の児童館と、東予北・南地域交流センターで実施。親子で参加でき、運動遊び、造形遊び、集団遊びなどを行います。

※毎年、広報紙3月号で募集内容を掲載



3カ月健診が
きっかけで外に
出始めました



2歳3カ月の男の子を育
てているお母さん。
桐木亜矢子さん

まずは一歩、踏み出そう

—子育て中、大変なことも多いと思いますが、いかがですか。

桐 1人目の子なので、何が大変か分からないくらい大変です。生まれて2カ月で引越したので、子育ても地域も分からず、引きこもっていました。3カ月健診をきっかけに外へ出るようになり、今は年齢が近い子どものお母さんと話すことで、気持ちに余裕が出てきています。

活用してみよう さまざまなサポート

前ページの座談会でも話があったように、一歩外に出てみることも大事です。一人で抱え込まず、まずは問い合わせを試みませんか。

ファミリーサポートセンター

地域のみんなで
育児の助け合い



子育てサポートが必要な方に対し、送迎や預かりをサポート会員が行います。例えば、働いていて保育園の送迎ができないときや、お母さんのリ



サポート会員の家で楽しく過ごす子ども

フレッシュのために使われることもありすね。利用前に、利用者の親子と、サポート会員と、私と必ず事前打ち合わせがあり、預ける前に1度会うので安心できます。センターを利用する方は年々増え、共働きや、転勤で西条に来た方の登録も多いです。

サポート会員も募集中で、サポート会員になるための講習会を開催しています（詳細は18ページに掲載）。子育てが一段落した方が多いですが、中には自分の子育ての合間で手伝ってくれる方もいます。サポート会員から「小さい子と触れ合えるのがうれしい」、お母さんから「孫みた

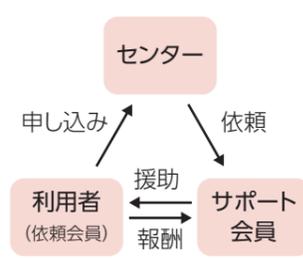


ファミリーサポートセンター アドバイザー
大野まゆみ

いに見てくれて助かる」と言ってもらったときはうれしかったですね。サポートが終わった後も、普通に遊びに行く関係になった方もいます。

問合せ 西条ファミリーサポートセンター
Tel 0897-153-1666

ファミリーサポートセンターの仕組み(概要)



すくすくナビゲーター

悩みや困り事を
一緒に考えます

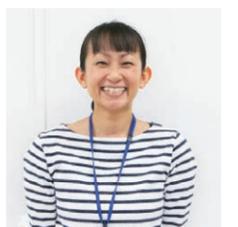


今年度から新しく始まった「すくすくナビゲーター」として、主に子どもが生まれた方や、当市に転入した方に、子育てサービスを紹介しています。一時保育、子育て支援センター、保育所・幼稚園など、それぞれの方にあつた制度をご案内します。

私自身、県外で2人の子育てをした経験があります。実家が近くになくて大変でしたが、支援センターで話を聞いてもらい、いろいろ教えてくれる人がいて、すごく救われました。自分の実体験をふまえて、同じような境遇の方の気持ちを受け止め、少しでも力になりたいです。3歳と5歳の子どもがいるので、話に共感できる部分もたくさんあると思います。



ぽかぽか広場でも相談を受けています



子育て支援課
すくすくナビゲーター
中谷亜由美

がありませんが、周りに頼る人がいない方でも、家にずっといて一人で抱え込まないようにしてほしいです。市役所だけでなく、1歳半健診や子育て支援センターなどへ出張もしていますので、ぜひ気軽に話しかけてください。

問合せ 子育て支援課
Tel 0897-152-1581

ぽかぽか広場

相談もできる
気軽な遊び場



中央保健センターで毎週火曜日に開催しているこの広場には、子どもと一緒に遊び感覚で来ることができます。保健師や、栄養士、保育士、助産師に話もできて、気分転換にもなります。

母乳のことをきっかけに相談をいただくことが多いですが、よく聞くと、子育てや家庭の悩みがあることもあります。



ぽかぽか広場相談担当
助産師
安藤陽子

す。中には、一見明るいけど、すごく悩んでいる方もいて、じっくり話を聞くことを大切にしています。家族などに言いにくいことも、ここで話して、すっきりして帰ってもらいたいですね。助産師というより、ちょっとおせっかいなおばちゃんという感覚です。相談を通して「安心した」という声をよくもらいます。

転勤などで西条に来る人も多いです。見知らぬ土地で子育てをするのは大変です。この場所で、同じような気持ちの人などと多くのつながりができたらいなと思います。あまり人と話すのがいやという方は、子どもと2人で遊んで、帰ることもできます。それぞれに合った、いろんな遊び方ができる場所です。

問合せ 中央保健センター
Tel 0897-152-1215



相談だけでなく身長や体重の測定もできます

新米パパママ学級



赤ちゃんをお風呂に入れる練習中

パパママになる
準備と仲間作り



これからパパ・ママになる方を対象に、中央保健センターで開催しています。病院での両親学級もありますが、こちらでは地域の妊婦さんが出産予定日の近い方が集まるので、ママ同士の会話もしやすいと思います。

今年度から「ママが頑張るすぎない育児」を目指し、妊娠中や出産後の特に大変な時



中央保健センター
保健師
黒田仁美

期を乗り切れるような内容にしています。ママ同士が知り合って情報交換ができるよう、パパが参加するのは全3回中、初回だけです。体験などを通して、ママと共に育児の主役であるパパにも育児のイメージをつかんでもらいたいですね。周囲のサポートがない中で、ママが子育てをするのは大変です。市の子育てサービスを実際に見学・参加する時間も設けています。

教室に参加された方からは「先輩ママの交流会が良かったです」という感想がありました。子育て中の先輩ママからアドバイスが聞けるチャンスです。ぜひ参加してみませんか。

問合せ 中央保健センター
Tel 0897-152-1215

7月からスタート！ 子育てモバイルサービス



スマートフォンなどで利用可能です。詳しくは広報紙7月号でお知らせします。

一時預かり 保育所に一時的に預けるとき
問合せ 子育て支援課 Tel.0897-52-1337

乳幼児相談 妊娠・出産・育児の相談
※詳しくは27ページをご覧ください。

結婚支援の婚活イベント 8月12日(日)に開催
※詳しくは広報紙7月号に掲載します。

そのほかのサポート

子どもの年齢や家庭の状況に応じた各種のサポートがあります。すくすくファイリングブックやすくすくガイドもご活用ください。

